

観光関係では、町内唯一の温泉施設である交流促進センター「勝山温泉ゆうゆ」は平成29年1月に大規模改修を終えました。運営については、町民が中心となって立ち上げる「一般社団法人おくと勝山温泉ゆうゆ」が行います。置戸の宝である「ゆうゆ」を軸とした観光振興を図るため、地域おこし協力隊2名を配置し、イベントの企画立案や施設の魅力を情報発信することで、町民はもとより町外からも多くの方に足を運んでもらえる施設を目指します。



▲勝山温泉ゆうゆを軸に観光振興を図ります

土木関係では、橋梁の老朽化対策のため平成24年度に長寿命化修繕計画を策定しました。この計画に基づき下秋田橋の予防的な修繕を行うために8,000万円を計上しました。

- ・橋梁長寿命化修繕事業 8,000万円
- ・道路灯LED化工事 90万円
- ・噴水周辺設備改修工事 500万円
- ・雨水対策工事 1,200万円
- ・町道置戸川南境野線道路舗装修繕工事 1,311万円
- ・町道新設工事 1,801万円
- ・町道敷地確定事業 330万円

防災関係では、昨年8月の台風被害を受けて、一層の防災・減災に備えるため、導入から32年を経過し、老朽化が著しい防災行政無線の設備更新経費として1億5,950万円を計上し、災害時の町民の安全性の確保に努めます。

- ・防災行政無線整備事業 1億5,950万円

学校教育関係では、置戸高等学校が少子化などの影響により受験者数の確保が厳しい状況にあることから、通学生に対する各種支援や福祉科のPR活動を継続して行うため1,700万円を計上しました。

- ・置戸高校への支援事業 1,700万円

公民館関係は、境野公民館が建設から38年経過し、老朽化してきていることから、平成30年度の

建設に向けて、実施設計委託料1,630万円を計上しました。

- ・境野公民館建設工事実施設計委託 1,630万円



▲建設に向けて境野公民館の実実施設計を行います

スポーツ振興では、平成28年度にファミリースポーツセンターの耐震補強及び大規模改修工事を終え、今年度は外構工事をを行い、スポーツ環境の整備充実を図ります。改修に合わせて新たなトレーニング器具を設置したことから、専門知識のある健康運動指導士を配置し、高齢者・障がいのある方の介護予防やリハビリ、体力維持など町民の健康増進に努めます。また、多目的交流施設「げんき」の照明器具のLED化、老朽化した南ヶ丘スキー場の圧雪車の更新を図ります。

- ・ファミリースポーツセンター外構工事 4,500万円
- ・多目的交流施設照明LED化工事 660万円
- ・スキー場圧雪車更新事業 2,600万円



▲ファミリースポーツセンターの外構工事をを行います

簡易水道特別会計では、簡易水道再編推進事業が6年目を迎え、3億510万円を計上しました。

- ・簡易水道再編推進事業 3億510万円

下水道特別会計では、境野浄化センターの遠方監視装置更新事業として1,210万円を計上しました。

- ・境野浄化センター遠方監視装置更新工事 1,210万円